令和７年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
成果報告書
①（基礎データ・公演事業の実績値等）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	久留米市
施設名	久留米シティプラザ
内定額	5,700　（千円）

（1）令和7年度　助成対象事業一覧

※実績報告書様式13－2(2)事業内容 から転記してください。
　複数の事業類型（公演・人材・普及）が助成対象となっている場合は、それぞれすべて転記してください。

事業番号	事　業　名	実施日程	実施会場
普-01	みんなのステージ発表会	令和8年3月21日、22日	久留米座、六角堂広場
普-02	知る/みる/考える 私たちの劇場シリーズvol.7 「老いと演劇」OiBokkeShi『恋はみずいろ』	令和7年7月5日、6日	Cボックス
普-03	知る/みる/考える 私たちの劇場シリーズvol.7　贅沢貧乏『わかろうとはおもっているけど』	令和7年12月6日、7日	Cボックス
普-04	ユースプログラム「新しい演劇鑑賞教室」	令和7年5月24日、7月6	会議室他
普-05	北野町で会いましょう	令和7年6月8日、7月13	北野生涯学習センター他
普-06	キッズプログラム2025「こどものあそびば」	令和7年6月15日・22日・29日、7月21日	久留米シティプラザ、石橋文化センター他
普-07	キッズプログラム2025「はじめてのえんげき体験ワークショップ」	令和7年9月13日、14日	中会議室
普-08	キッズプログラム2025 「0歳からのミュージックコンサート」	令和7年4月5日	久留米座
普-09	キッズプログラム2025 カンパニーデラシネラ『はだかの王様』	令和7年12月14日	久留米座
普-10	ランチタイムコンサート	令和7年4月24日、	六角堂広場

（2）〔基礎データ〕

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

【1. 事業本数】

項　　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
年間事業本数（※1）	主催事業	16	17	16
	公演事業	2	2	1
	（内、本助成対象事業本数）	0	0	0
	人材養成事業	0	0	0
	（内、本助成対象事業本数）	0	0	0
	普及啓発事業	12	12	12
	（内、本助成対象事業本数）	0	0	10
	共生社会事業			
	（内、本助成対象事業本数）			
	その他　内容：　記入してください	2	3	3

※1　事業の延べ実施回数ではなく、事業本数を記入してください。

【2. 貸館日数】

項　　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
貸館日数	ホールごとの貸館日数	377	375	440
	ホール名：ザ・グランドホール　座席数：1514	157	160	180
	ホール名：久留米座　座席数：399	134	135	148
	ホール名：Cボックス　座席数：144	86	80	112
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			

【3. 施設利用者数（事業利用者数）・開館日数・利用可能日数・利用日数・利用率】

項　　目			令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設利用者数（※2）	主催事業入場者・参加者数		28,971	37,620	38,653
	公演事業		2,241	1,061	632
	人材養成事業		0	0	0
	普及啓発事業		5,972	3,084	6,390
	共生社会事業				
	その他　内容：	賑わい事業等	20,758	33,475	31,631
	貸館事業入場者・参加者数		287,338	378,550	397,500
	その他　内容：オープンスペース等利用者		141,309	141,434	146,299
	計		457,618	557,604	582,452
開館日数			343	335	335
施設の利用可能日数 （＝365－（保守点検日数+休館日数））					
施設の利用日数					
施設の利用率(%) （＝利用日数/利用可能日数）			0.0%	0.0%	0.0%

備考	

※2　実演芸術の公演等を鑑賞する者、ワークショップ等に参加する者、その他の劇場・音楽堂等の事業を利用する者の延べ人数を記入してください。
劇場・音楽堂等のスタッフや、併設施設（美術館、図書館等）のみへの入場者、事業関係者（出演者、指導者、スタッフ等）は除きます。
レジデントカンパニー・アーティストの稽古利用等の場合は「その他」に記入してください。

【4. 公演事業データ】

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

事業種別		事業本数	公演回数	入場者・参加者数	事業本数内訳						
					演劇	音楽	舞踊	伝統芸能	演芸	総合（※3）	その他
令和5年度	主催公演（※1）	2	2	2,212	0	1	0	1	0	0	0
	共催・提携公演（※2）	5	8	9,774	3	0	1	0	1	0	0
	貸館公演	125	147	60,870	20	78	13	5	7	1	1
	計	132	157	72,856							
令和6年度	主催公演（※1）	2	2	1,150	0	1	0	1	0	0	0
	共催・提携公演（※2）	8	17	16,834	3	2	2	0	1	0	0
	貸館公演	124	150	61,000	20	77	13	5	7	1	1
	計	134	169	78,984							
令和7年度	主催公演（※1）	1	1	632	0	1	0	0	0	0	0
	共催・提携公演（※2）	8	17	12,696	2	1	4	0	1	0	0
	貸館公演	34	34	36,415	5	20	3	3	3	0	0
	計	43	52	49,743							

※1 名義主催は除きます。
※2 名義共催を含みます。
※3 「総合」には、フェスティバル等における事業数を記入してください。

（3）各公演事業における実績値 及び 評価項目「創造性・企画性」に関する評価指標・目標（値）・実績（値）

・公演事業について、助成対象事業ごとに目標（値）と実績（値）を記入してください。
・入場者数・入場者率（目標値）は**「交付申請書」**から転記してください。
・有料入場者数・有料入場者率（目標値）および評価指標・目標（値）は**「評価補助シート」**から転記してください。

※有料入場者率（%）の計算方法＝**有料入場者数÷公演の設定席数（実績値）合計×100**

事業番号	事業名		入場者数	入場者率	評価指標	目標（値）	実績（値）
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

令和７年度

劇場・音楽堂等機能強化推進事業

成果報告書

②（評価）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	久留米市
施設名	久留米シティプラザ
内定額	5,700　（千円）

（1）各公演事業の自己評価

「成果報告書①（基礎データ・公演事業の実績値等）」に記載の入場者率・評価指標・実績（値）等に言及しつつ、自己評価と自己評定（※1）を記入してください。

（※1）…S～D で記入してください。

※太枠内に記入してください

事業番号	事業名	自己評価

※行が足りない場合は適宜追加してください。

（２）自己評価

評価項目①：創造性・企画性

（※１）…S～D で記入してください。

評価の観点	・（企画力）地域の状況と芸術性とのバランスが取れた、特色ある事業計画である。 ・（制作力）優れたアーティストやスタッフ等が才能や技能を発揮し、高い水準の作品制作や各種事業が行われている。 ・（発信力・影響力）圏域内外の実演芸術を牽引する成果が期待できる。 ・（レジデントカンパニー・アーティスト）当該劇場を創造拠点又は準拠点とする実演芸術団体やアーティストを擁する。	
	・自由設定の観点（任意）（※２）	

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

	評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）
公演事業			
人材養成事業			
普及啓発事業	①新規来館者数 　公演アンケートで来館回数が「初めて」の人の割合を測定 ②参加者の満足度 　公演アンケートで「本日の内容」の満足度において「大変満足している」人の割合を測定	①全公演で初めて来館した人の割合　20% ②大変満足している人の割合:50%	①全事業で初めて来館した人の割合　26.6% ②大変満足している人の割合:75%
共生社会事業			

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、事業類型ごとに太枠内に自己評価を記入してください。

公演事業	
自己評価	

人材養成事業	
自己評価	

普及啓発事業	
自己評価	全事業で初めて来館した人の割合は 26%を超え、確実にこれまで来館したことのなかった来館者は増えている。特に「0 歳からのミュージックコンサート」では半数以上が初めてと回答。演劇事業でも 25～30%が初めての来館と回答している。 また、事業の内容に、大変満足している人の割合が 75%と、目標を大きく上回り、すべての事業において多くの方に満足していただいており、期待に添う事業を実施できていると考える。

共生社会事業	
自己評価	

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目②：国際性（任意）

評価の観点	・（国際プレゼンスの向上）海外の劇場やフェスティバル、実演芸術団体等と連携し、国際共同制作や海外作品の招聘等に取り組んでいる。 ・（国際交流）アーティストや文化芸術関係者の招聘等、人的交流や情報交換が行われている。 ・（新たな創客への取組）在住外国人や訪日外国人に向けて文化芸術体験の機会を提供する等、グローバルな視座で創客に取り組んでいる。	
	・自由設定の観点（任意）（※２）	

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入すること。

評価項目③：地域文化拠点機能

評価の観点	・(文化拠点) 地域の特性やニーズを踏まえ、地域の文化資源を活用するなど、地域の文化拠点として事業が組み立てられている。 ・(地域連携) 地域の関係機関と連携・協力し、地域コミュニティの創生や社会課題の解決等に取り組んでいる。 ・(児童生徒への機会提供) 次代を担う子ども達を対象とした鑑賞や体験事業が行われている。	
	・ホール利用サービス（貸館事業）の向上（任意）（※2）	
	・自由設定の観点（任意）（※3）	

（※2）・（※3）…R7 年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※4）	目標（値）（※5）	実績（値）
①子ども対象事業の申込者数	①すべての事業で目標定員に達する申込者を得る	①すべての事業で概ね目標定員に達する申込者を得ることができた。
②事業において連携する団体数	②新たな連携団体を開拓する	②継続して実施する事業の中でアウトリーチ事業の新しい提携先として新規の連携団体を開拓できた。
③貸館利用者の満足度 　貸館利用者アンケートにより、当館を「ぜひ利用したい」と回答した利用者の割合を把握	③「ぜひ利用したい」人の割合：80%以上	③「ぜひ利用したい」人の割合：86%

（※4）・（※5）…R7 年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	子ども対象事業の申込者数は概ね目標に近い数を得られ、「北野町で会いましょう」においては、連携する団体も新たに開拓することができ、次代を担う子ども達に対する事業や市の部局を超えて連携・実施した社会課題の解決等への取り組みの充実も図れている。 貸館利用者の「ぜひ利用したい」は 86%だが、「機会があれば利用したい」を合わせると 100%となっており、利用者の満足度はかなり高く、地域の文化拠点としての機能を十分に発揮できていると考える。

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目④：多様性とアクセシビリティ

評価の観点	・（プログラムの多様さ）プログラムの種類や形態が多様で、幅広い観客や参加者に訴求する。 ・（参画者の多様さ）アーティストやスタッフとして参画する人々の属性（性別、年代、居住地、他）が多様である。 ・（アクセシビリティ）障がいの有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状況等に関わらず、あらゆる人々と実演芸術をつなぐため、施設の構造・設備上の配慮、プログラム上の創意工夫やサポート、アウトリーチ等が行われている。	
	・自由設定の観点（任意）（※２）	

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）
①U25 チケット販売数	①前年度比１０％増	①前年度比５倍以上の販売数となった。
②事業の核となるアーティストの男女比率	②5：5 を目指す	②男女比はおよそ 2：5
③他者への理解度 事業に応じて、外国人、障害者、年齢、性差などの視点からアンケートに設問を設定し、測定	③全参加者数のうち、理解度が広がった旨の回答をした人：25％以上	③約 92％が他者への理解度が広がったと回答。

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	U25 のチケット販売数は前年比５倍と大きく伸びており、より多くの若い世代がプログラムに参加するようになっていることがうかがえる。 アーティストの男女比は 2：5 と多少女性の方が多かったが、俳優やダンサーなど、多様な人材を起用し、事業を実施した。また、アウトリーチ事業により、在住外国籍の参加者も増え、プログラムを通して地域の人々との交流や相互理解が進んだことがアンケートでも確認できた。

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目⑤：自由設定（任意）

評価の観点	①　創造性・企画性、②国際性、③地域文化拠点機能、④多様性とアクセシビリティ、⑥運営体制と持続可能性　の項目では成果や課題に言及しきれない事柄について、自己評価を行ってください。（※２）
	・ ・ ・

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	

（2）自己評価

その他：エピソードやグッドプラクティス事例について

助成対象事業に関連して、心に響くような印象的な出来事や、他館の参考になるような好事例があれば、具体的にご記入ください。
1）特定技能外国人を採用している企業が抱える課題の顕在化 令和 7 年度 4 月より、特定技能外国人職員を採用している企業が、自治体から地域交流事業を提案された場合、必ず応じることとされた。社会的包摂を目的としたアウトリーチ事業の計画の段階で、特定委技能外国人職員（21 名）を採用している聖マリア病院と交渉した際に、そのことも後押しとなり、全般的に好意的に受け止められ、ダンスによる地域住民との交流事業が実施できた。聖マリア病院では、外国人職員を採用して久しいが、職場内でもその存在が知られていないこと、外国人職員が休日出かけるきっかけがないということを課題としていた。単発的な事業が果たせる役割は少ないが、このような現実的な課題を確認できた。 2）作品鑑賞後に実施する観客同士の対話の時間（シアターカフェ） 「知る/みる/考える 私たちの劇場シリーズ」における鑑賞後のシアターカフェ 7 回目、8 回目を実施。回を重ねるごとに申し込み者が増えている。観客同士が意見を交換する場で、作品の見方が多様であることを共有している。他自治体からの視察も増えている。

（２）自己評価

評価項目⑥：運営体制と持続可能性

（※１）・（※２）…Ｒ７年度評価補助シートから転記すること。
※太枠内に記入してください

○「実現性」の項目より〈(ア）～（エ)〉

評価の観点	（ア）多様な財源の確保 予算計画が妥当であり、事業収入のほか、各種助成金や寄附金・協賛金等の獲得に努めている。	（イ）広報・営業力 広報計画が充実しており、券売や集客、会員制度等の拡充に努めている。
現状（※１）	各種助成金や個人・法人からの一口寄附・ふるさと納税、地元企業からの寄附・協力金の獲得に努めている。	年間広報計画を作成し、ターゲットにあわせた媒体を活用するよう努めている。
目標(値)（※２）		
実績(値)		
団体の自己評価		

評価の観点	（ウ）他館連携 他の劇場・音楽堂等との事業連携や協力・支援を通じて、効果的で効率的な事業運営を行っている。	（エ）設置者 円滑な事業の継続のため設置者と適切に意思疎通を図っており、設置者による人材や財源の確保等が期待できる。
現状（※1）	他館とのネットワークを活用し、事業企画等を検討している。	直営施設である。
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価		

○「持続可能性に関するチェックシート」より〈(オ) ～ (セ)〉

評価の観点	（オ）芸術監督 芸術監督等、劇場運営の芸術面を統括する人材が配置されている。	（カ）長期的経営 長期的視点に立ち、劇場運営を統括する、経営実務者が配置されている。
現状（※1）	現在、芸術監督等は設置していない。	配置している。
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価		

評価の観点	（キ）専門人材の確保 今日的な劇場運営に必要な職能や専門性を踏まえ、運営体制が整備されている。あるいは専門人材の確保や育成に努めている。	（ク）職制の整理 芸術監督、館長、支配人、プロデューサー、その他管理職の職位及び職能、一般職員の職務内容等が専門性を基に整理され、役割分担されている。
現状（※1）	公文協の支援員制度や県主催の研修、内部研修を通じて、専門人材の育成に努めている。	その職位に応じた役割分担を行っている。
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価		

評価の観点	（ケ）世代間バランス 年齢バランスを考慮した人材確保を行っている（若年層の雇用に努めている）。	（コ）ジェンダーバランス 女性管理職比率が 30%以上である。あるいは、女性の管理職やリーダー職への登用に努めている。
現状（※1）	幅広く人材確保を行っている。	女性管理職の比率は 33.3%である。
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価		

評価の観点	（サ）ワークライフ・バランス 仕事と育児･介護等の両立支援制度を整備し、推進している。	（シ）コンプライアンス順守 情報セキュリティをはじめ、各種コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。
現状（※1）	支援制度を整備している。	行っている。
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価		

評価の観点	（ス）ハラスメント防止対策 職場内及び創作現場におけるパワー・ハラスメント、セクシュアル･ハラスメント等防止のための指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。	（セ）適正な契約事務 アーティストやスタッフと適正な契約書を交わしている。
現状（※1）	行っている。	市の規則に従い、契約事務を適正に行っている。
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価		

（3）総評

※太枠内に記入してください。

団体の自己評価
事業を通して来館したことのなかった来館者が増え、事業の内容についても多くの方に満足していただいている。また、次代を担う子ども達に対する事業や市の部局を超え連携・実施した社会課題の解決等への取り組み、地域の団体との連携によるアウトリーチ事業など、社会包摂を意識した事業を積極的に実施することにより、さまざまな人々が身近なものとして文化芸術の魅力に触れたり、楽しみながら交流したりする機会を提供できた。貸館利用についても満足度は高く、地域文化拠点としての役割を十分に担っていると考える。 若い世代の来館・参加者も増加しており、アウトリーチ事業を通して、地域に向けた新しいアプローチができた。

備考